

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 5年 3月20日

事業所名 多機能型 きゃんぱす

保護者等数（児童数）20

回収数 16

割合 80%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11			5		限られたスペースの中で安心、安全に過ごせる空間を確保出来るようにしています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11			5		配置基準を満たした職員の配置で、研修等で質の向上を図っています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10			6		生活活動空間に段差がありますが、移動時には、必ず見守りをして対応しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12			4		建物内や利用物品の消毒、換気等を毎日行い清潔な環境を整えています。
適切な支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	16					お子様の状況や保護者様のニーズや課題を汲み取り個別支援計画に反映させるようにしています。 個々のニーズや課題に応じて必要な項目を選択し目標にあげて、達成されるように支援内容を考えるようにしています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13			3		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15			1		一人ひとりに合わせた支援を行なっています。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	14			2		月案、週案を作成し、活動に偏りがないよう作成しています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4		4	8		今後、行事や遊びを通して、交流していければと思っています。
保護者への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	1				利用契約時に説明を行っています。利用者負担金に変更がある場合には都度、対象の保護者様に説明させて頂いています。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	14			2		保護者様より聞き取った課題や要望を反映させた計画目標とそれに沿った支援内容の説明を行い、了承頂いています。
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	10	2		4		ご自宅やご利用時の様子を共有したくさん褒められる成功体験を積む事で、自信や成長の喜びに繋げる事が出来るように適切な関わり方を保護者様と一緒に考えるようにしていきます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか	16					連絡帳や電話、送迎時等には、その日の利用児様の様子をお伝えし、成長の喜びや課題を情報共有するようにしています。相談しやすい雰囲気や対応が出来るように努めて参ります。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	2				
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2	9	2		保護者様同士で情報共有やお互いの悩み等相談できる機会を検討していきます。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13	3				聞き取った情報（困りごとや不安感等）は、職員や関係機関との連携を図りながら、少しでも解決に向かう事が出来るように努めて参ります。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	2				連絡帳や電話、お便り等で情報を伝達出来るようにしています。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12	1	1	2		年3回程度、活動や行事内容、利用児様の様子を伝達しています。
19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	14			2		担当者会議等において関係事業所等の必要な場合に使用し、関係者以外には決して漏れる事が無いように最新の注意を払っていきます。	
非常時等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	11	1	1	3		マニュアル等、玄関に掲示されているものもあるが、保護者様への周知や発生を想定した訓練等、不十分な所は、今後見直し改善していきます。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9			7		2ヵ月に1回、地震や火災、洪水等を想定した訓練を実施しています。災害に備えて備蓄の確保もしています。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	16					活動や療育を充実させ、お子様が楽しんで通所出来るように努めていきます。
	23 事業所の支援に満足しているか	15	1				利用児様、保護者様に満足して頂く為に、良い支援が出来るように努めて参ります。

\*1 この部屋で何をやるのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2

児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる事が想定されています。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。